

海外事務所  
だより

“One World One Dream”  
北京五輪へのカウントダウン

北京事務所所長補佐 宇野 和彦 (京都府派遣)

北京事務所

はじめに  
〓二三億人の眠れない夜〓

中国No.1の発行部数を誇る人民日報が「二三億人が注目する眠れない夜」と見出しをつけた二〇〇一年七月一三日、モスクワで開かれたIOC総会において、五輪二〇〇八年大会を中国の首都北京で開催することが決定されました。サマランチ会長(当時の「シティー・オブ・ベイジン(北京)」)という声に、中国国内は沸きかえり、天安門広場には四〇万人の市民が集い歓喜に酔いしました。シドニーに敗れてから八年、ついに北京が五輪開催権を手中にした瞬間でもあります。五輪開催は、経済効果、国際的地位の向上等、開催国家にとって大きな意義を有することは言うまでもなく、中国にとつては、WTO(世界貿易機関)加盟と並ぶ二〇〇一年最大の成果となりました。

あの眠れない夜からはや五年、北京では開催に向けた準備が着々と進んでおり、今回は、施設整備状況・環境対策など、北京市政府が実施する北京五輪施策について紹介したいと思います。

施設・インフラ整備と  
節約五輪

(1) 競技場

北京五輪は、北京市内三一、他都市五の計三六競技場で実施することが予定されています。北京市内では一



↑建設が進む国家体育场

の競技場が新たに建設され、改装等も含めるとその建設費用は、二〇〇億元(一元〇〇約一五円)と試算されています。北京五輪組織委員会によると、各競技場の建設はおおむね順調に進捗しており、二〇〇七年中には、すべての競技場が完成する見通しとなっています。北京五輪の象徴であり開幕式が行われるメインスタジアム「国家体育场(愛称:鳥の巣/バード・ネスト)」は、既に主要コンクリート構造が完成、二〇〇五年一月に上棟式が行われ、二〇〇七年末に竣工の予定となっています。また、斬新なデザインで有名な国家水泳センター(愛称:水立方/ウォーター・キューブ)もコンクリート工事が既に完了、現在は鉄鋼構造工事が進められています。

現在は順調な競技場建設ですが、以前にはいくつかの問題も発生しました。二〇〇四年、国家体育場の工事は、鋼材消費指数の高さや安全性の低さから、新しいもの、

西洋的なものを求めすぎた「巨大な浪費と危険の産物」と酷評され、約五カ月もの間工事がストップするという事態に発展しました。この間、設計の見直しによる安全性・経済性の確保、開閉式屋根の建設中止などの変更を経て、総工費を当時の三億八千から三億二千万にまで削減に成功、これを契機に、北京市政府は、五輪招致の際に提唱した「節約五輪」の精神を強く遂行していくこととなります。現在は、総建設費用の二億二千万〜三億二千万の削減を目標にさらに見直しが進んでおり、この結果、同五輪の運営費はアテネ五輪の二億四千万(約一九二億円)を下回る二億一千万(約一六〇億元)程度になると予想されています。

### (2) 高速・一般道路

二〇〇五年には、三路線の高速道路が開通、二〇〇六年には、新たに三七〇億元を投資し、六路線三五〇km以上の高速建設が予定され、北京市の高速道路網は約九〇〇kmにまで拡大する予定です。また、一般道の建設・拡張も急ピッチで進んでおり、五輪開催までには北京市の道路総延長は一万四七〇〇km、道路網密度(面積1km当たり道路実延長)は、〇・八七km/km(東京二三区市街化区域≒約二km/km)になる見通しです。

### (3) 空港

北京空港では既に、空港第三ビル(三万五千方m)と第三滑走路(二八〇〇m)の建設が進んでおり、二〇〇六年中に完成する見込みです。竣工後は、現在の年間三五〇〇万

人を上回る六〇〇〇万人の利用が可能となります。

### (4) 地下鉄等公共交通機関

地下鉄四号線、五号線、九号線、一〇号線、五輪支線が現在建設中で、五輪開催前に開通する予定となっており、また、現在は車で約四〇分の北京空港〜市内を、わずかに一分で結ぶ高速鉄道も建設中です。さらに、三七億元を投資し、現在の中心路線である一号线、二号线の老朽化に伴う危険箇所、ICカード技術を用いた自動改札機の導入が予定されています。タクシートの小型車から中型車への切り替えと視聴用車内TVの設置、公共バスの新車化・バリアフリー化も急ピッチで進められています。

## ハイテク五輪と北京ならではの

### (1) 次世代型電子地図

二〇〇六年一月、北京五輪の公式サイトに次世代型電子地図が登場しました。この電子地図は、「オリンピック競技場」や「五輪特許商品専売店」、「五輪マスコット販売店」、「北京の観光名所」など、北京五輪と関係する豊富な情報を提供するインターネットサービスです。この地図は、北京市の目印となる建築物や道路約一万余所を選出し、地上標識とすることで、正確かつ迅速に目的地を検索できるとともに、競技場の正確な位置や一番近くのマスコット販売店等をネット



↑北京五輪開幕までの時間を表示する掲示板。天安門広場横の国家博物館はじめ、市内各所に設置されている

上で瞬時に知ることができ、過去の五輪の公式サイトでも例がないハイテクサービスとして国内外で評判になっています。

### (2) 偽物対策

パンダや聖火などをイメージした五輪の五輪マスコット「福娃(フーワー)」（幸せをもたらす子ども）は、その直後に偽物商品が市場に登場し、「偽物大国」ならではの問題の解決が急務となっています。マスコットは発表前に外部に漏れないよう秘密保持が徹底され、工場生産も制限されたため、プレミアにより価格が一時急騰、一般市民が入手困難となった結果、偽物業者の商機となり、偽物が多数出回るといふ悪循環を生み出していました。北京五輪ロゴ発表後も、ロゴ入り偽Tシャツ等があつという間に出回った経緯もあり、北京市政府は、巨大な利益を生むマスコット関連商品の知的財産権に対して海外も含めた保護措置を行い、偽物に利益を持つていかれることを警戒するとともに、偽物大国の汚名返上にも威信をかけて取り組んでいます。

## (3) 市民向けマナー対策

五輪開催は中国にとって国際イメージ向上の好機ですが、逆に公共の場でのマナーの悪さが解消できなければ、国外に大きなマイナスイメージを与えることにもなりません。北京市政府は、五輪開催までに改善すべき市民の三大悪習慣として「ところかまわず痰を吐く、ごみを投げ捨てる、ペットに排せつさせる」を挙げ、公共の場へのごみ箱の設置、ごみのポイ捨て・痰吐きに対する最高五〇元の罰金制度の確立、携帯電話メールによる正しい痰の吐き方の指導等を実施しています。また、公共の場で痰を吐く行為を監視するため、一〇〇万元以上を投入して「ハイテク摘発車」を導入、摘発車にはカメラ三台とテレビのほか、衛星通信設備が設置され、半径二五〇mを監視できます。指揮官が車内で画面を監視し、痰を吐く人を発見次第、現場係官に連絡、犯人を取り押さえる仕組みになっています。さらに、北京市政府は、礼儀作法や振る舞い方などを定めた小冊子を発行、各家庭に無料配布するとともに、度々問題視される一部中国人の観戦マナーへの教育啓発活動も重視しています。

## グリーン五輪実現に向けた環境・エコ対策

北京市政府は、「北京の環境は五輪開催の条件に遠く及ばない」との認識のもと、

二〇〇七年末までに、一二二億ドル(約九七六億元)を投じ、二〇項目以上の環境保護に関する大規模プロジェクトを実施する予定です。このプロジェクトにより、二〇〇七年までに、北京市内の緑化率は五〇%にまで引き上げられるとともに、特に、環境汚染が深刻とされる地域については、その汚染源とされる企業の移転を加速させることとしており、二〇〇社に上る企業が移転対象となる予定です。エコ対策としては、五輪選手村に太陽エネルギー設備を導入するとともに、市内のホテルから歯ブラシやシャンプーなどの客室備品を撤去し、タオルやシーツなどの交換回数減らすよう指導するなどの取組みが実施されています。また、市内のごみ分別収集率を五〇%に引き上げることが目標とされています。

## 終わりに 経済効果と五輪以降

IOCによると北京五輪では、過去最高の利益を生み出した一九八四年ロサンゼルス五輪の二億二〇〇万ドル(約一七・六億元)を上回る利益が見込まれるとともに、経済成長率を年平均〇・八ポイント押し上げ、この四年間で一八〇万人の新規雇用を創出すると試算されています。しかし、この五輪効果による景気過熱の裏には、五輪以降の急激な景気冷却の危険性が潜んでおり、北京市政府では、五輪以降の用途お

よび人の移動や行動の変化を考慮した五輪施設建設計画の検討を始めています。宿泊施設についても、新規建設ではなく、現在北京に四〇〇〇件あるといわれる下級ホテルを改装等により利用する方策も進められようとしています。

「昔、北京の空はすごくきれいだった。今もきれいですか？」先日、日本の知人から届いたメールです。現在の北京は、市内のいたるところで夜通し工事が行われ、騒音、大気汚染はひどくなる一方で、澄んだ青空や星空を眺めることは難しくなっています。しかし、その一方で地方からの数百万人の出稼ぎ労働者に仕事を提供しているのも事実で、貧しい農村の生活水準向上に少なからず貢献しています。五輪に向けて日々変化し、高層ビルと工事現場が続く現在の北京は、五輪という華やかな宴の後、どのような変化をたどるのでしょうか。その答えは数年後には明らかになります。



↑修復が続く故宮博物館。五輪に向け、現在多くの文化財の改修・修復が進められている

## 海外生活 だより

北京事務所

# 北京買い物事情

北京事務所所長補佐 菅原 大介（仙台市派遣）

従来、北京市民の買い物場所といえ、いわゆる「自由市場」が一般的でした。しかし、ここ最近の急速な経済成長の影響で、北京市内には数多くの「スーパー（超市）」が見られるようになるなど、随分様子が変わっています。

## 自由市場とスーパー（超市）

### (1) 自由市場

自由市場は、市場という言葉から、屋外で野菜や果物が並んでいる光景を思い浮かべるかもしれませんが、百貨店のような



↑昔ながらの自由市場。多くの人でにぎわっている

豪華な建物の中に個店が集まったものも自由市場と呼ばれます。

野菜や果物といった食料品だけではなく、衣類、日常雑貨、骨董品等もあり、一口に自由市場といってもその種類は多種多様です。また、一つのビルがすべて眼鏡屋であったり、電気屋であったりする専門の自由市場もあり（これらは「眼鏡城」など、「〇〇城」と呼ばれている）、その規模に驚かされます。

### 自由市場で

は商品を値切つて買うのが常識です。客側は店員に言われた値段の半分以下から交渉をスター



↑衣服を扱う個人商店。ここでは店員と客とが真剣に値引き交渉をしている光景が見られる

トし、一元（約一五円）でも安く買おうとする、店側は少しでも高い値段で売ろうとする、双方が互いに真剣に交渉し、時間と労力を費やして双方が納得できるまでやりとりする光景が至るところで見られます。

### (2) スーパー（超市）

一方、スーパーは、日本のスーパーと百貨店の中間といったイメージのもので、二〇〇一年のWTO加盟以降は地元チェーンストアのほか、日本や欧米等の外資系資本のものも進出しています。

安さでは自由市場に劣りますが、立地条件がよく、価格が値札で示され（値引き交渉がない）、一カ所ですべて買いそろえられる点が受けています。また、高品質のものを適正な価格で購入でき、特に食の安全の関心への高まりを受け「緑色食品（無汚染・安全・高品質・栄養のある食品）」等の高級食料品が高所得者に人気のお手頃です。

ここでは、日本と同様、交渉することなく高品質のものを適正価格で、スマートに購入している人々の姿が見られます。



↑代表的なスーパーの店内。その様子は日本と変わらない

## 自由市場とスーパーが共存するまち、北京

自由市場に足を運ぶと、どの店も買い物客でにぎわっており、両手いっぱい買い物袋を提げている市民の姿が見られます。また、スーパーも、若者、家族連れ、外国人等多くの人であふれており、市民に広く受け入れられていることが実感できます。

日本では、個人商店が大型スーパーに押され気味ですが、北京では個店の集まりである自由市場の人氣は相変わらず高いです。至るところで再開発が行われていますので、昔ながらの露店は少なくなっています。安価で商品を手に入れられるこの自由市場は、低所得者層にとってはもろろんのこと、高所得者層にとっても値引きのやりとりや雰囲気を楽しめる魅力的な場所として、近代的なビルに姿を変えても引き続き続いています。

これは「貸比三家（商品を買うときには店を数件見比べ、より安くよいものを買う）」という言葉に表される中国人の買い物への姿勢や、古くからの値引き文化がいまだに



↑昔ながらの自由市場では主に野菜や果物を扱っている

市民に根強く残っていることによるものと思われまます。

このように、交渉することなく高品質のものを適正価格で買える「スーパー」と、交渉能力を駆使し、商品への目が利けば安い掘り出し物を買うこともできる（ただ、時には「安物買いの銭失い」になることもある）「自由市場」、これらを状況に応じて使い分けるのが北京流というわけです。

### 北京「買い物事始め」

状況によって使い分けるといっても、日本と同じ感覚で買い物ができるスーパーに比べ、自由市場での買い物となると少々勝手が違います。最後に、私の自由市場での買い物体験とそこから得た教訓(?)をご紹介します。

北京での初めての買い物、私がジャージを買に行ったときのことです。店員が寄ってきてジャージの値段を言ってきました。「いくらですか」「もう少し安くありませんか」しか言えない私に、店員は最初の額を電卓に打ち込み、



↑最近の自由市場。外観は普通のデパートと変わらない

声高に押し付けてきます。私はその勢いに押され、その額で買ってしまいました。

二度目の買い物、腕時計を買いに行ったときのこと。今度は試しにと、自分の希望金額を店員に伝え、そこからは電卓を使つての交渉開始。折り合いがつかず私が帰ろうとすると、店員がしぶしぶ私の要求に応じました。私はよい買い物できたと思つたのですが、後に職場でこの話をすると、「高い買い物をしたね」と言われました。いくら労力を費やしても、相場をよく知らずにはよい買い物はできないということです。

値札どおりに買わないのがある種の常識となつている自由市場でよい買い物をするためには、まずは相場をよく頭に入れておくことが必要です。そして実際に足を運んだら、電卓を片手に大きな声で自分の希望を伝えること、そして何よりも店員の言い値に屈しない姿勢を持ち続けることが大切

です。日本と同じ感覚で安心して買い物ができるスーパーは、日本人の私にとって大変ありがたいものです。一方、自由市場での買い物は、中国語能力もさることながら、スーパーでの買い物に慣れた私にとっては少々煩わしく感じられることもあります。ただ、せっかくの機会ですから、「郷に入りては郷に従え」の精神で、自由市場とスーパーをうまく使い分け、北京での買い物を存分に楽しみたいと思います。